

Opera Dots 東方Project オペラ公演 幻想郷への組曲 プロフィール 一覧



ヴァイオリニスト 尾池 亜美 Ami Oike

2008年、第11回江藤俊哉ヴァイオリンコンクール第1位。2009年、第78回日本音楽コンクール第1位、聴衆賞(岩谷賞)ほか受賞。2011年、第2回RNCMマンチェスター国際ヴァイオリンコンクール第1位、委嘱課題曲最優秀演奏賞。2013年、第12回カール・フレッシュ国際ヴァイオリンコンクール第2位。

これまでに日本フィルハーモニー交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、関西フィルハーモニー交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、ロイヤル・リヴァプール・フィルハーモニー管弦楽団、ジュール交響楽団などのオーケストラと共演。また国内のみならず、イギリス、スイス、セルビア、韓国、中国等でもリサイタルを開催。

3歳より叔母山下真澄の手ほどきによりヴァイオリンを始める。父の転勤で6歳より2年間スイスに在住、ハビブ・カヤレイ氏に師事。帰国後、石井志都子氏に師事。

東京藝術大学附属高校、同大学音楽学部にて澤和樹、ジェラルド・プーレ、オレグ・クリサの各氏に師事、安宅賞、アカンサス賞、同声会賞を受賞し卒業。スイス・ローザンヌ高等音楽院にてピエール・アモイヤル氏に、イギリス・王立北音楽院、グラーツ芸術大学にてヤイル・クレスに師事。ロームミュージックファンデーション、明治安田クオリティオブライフ奨学生。

2014年2月に初のソロ・CD「French Romanticism」をリリース。「豊かで多彩な音色と滑らかな技巧で多様な人間感情を投影(タワーレコード)」など好評を博し、「CD屋さんが選ぶ『クラシックCDアワード2014』」に選出される。2016年にバッハとバルトークの無伴奏作品をウィーンの教会で録音したCD「A」をリリース。レコード芸術誌特選盤に選ばれる。2019年、Ensemble FOVEとの共作でアルバム

「ZINGARO!!!」をリリース。またEnsemble FOVEのメンバーとして宇多田ヒカル、米津玄師の各氏の楽曲制作に参加。



カウンターテナー 村松稔之 Toshiyuki Muramatsu

京都市出身。東京藝術大学音楽学部声楽科、同大学院修士課程独唱科を首席にて修了。その後渡伊、G.カンテッリ音楽院古楽声楽科にて研鑽を積む。第20回ABC新人オーディション最優秀音楽賞、第12回千葉市芸術文化新人賞、第24回青山音楽賞新人賞、第13回東京音楽コンクール第3位等受賞。2017年度野村財団奨学生、2019年度京都市芸術文化特別奨励者。声楽を藤花優子、伊原直子、寺谷千枝子、R.バルコーニの各氏に師事。大阪交響楽団、大阪フィル、山形フィル、新日本フィル、藝大フィル等と共演。NHK・FM「リサイタル・ノヴァ」やABC放送にて大阪フィルとの共演などテレビ、ラジオに出演。2017年三枝成彰喜劇「狂おしき真夏の日」（ユウキ）、2020年井上道義×野田秀樹《フィガロの結婚》（ケルビーノ）に出演。来春2022年ドイツのエアフルト歌劇場《Julie et Mao》でのデビューが決まっている。



メゾソプラノ 山下裕賀 Hiroka Yamashita

京都府出身。東京藝術大学声楽科卒業。同大学院修士課程オペラ専攻首席修了。第23回友愛ドイツ歌曲コンクール学生の部奨励賞。第21回コンセール・マロニエ21第1位。第61回藝大オペラ定期公演『フィガロの結婚』ケルビーノ役、NISSAY OPERA2019『ヘンゼルとグレーテル』ヘンゼル役、『マリアストゥアルダ』エリザベッタ役(演奏会形式)等に出演。その他のコンサートでは、第64回「藝大メサイア」をはじめ、W.A. モーツァルト『レクイエム』、ベートーヴェン『第九』、ヴェルディ『レクイエム』、プロコフィエフ『アレクサンダー・ネフスキー』、デュリュフレ『レクイエム』等多数ソリストを務める。現在東京藝術大学博士後期過程在籍。日本声楽アカデミー会員。2021年11月には、NISSAY OPERA2021『カプレーティとモンテッキ』にてロメオ役で出演予定。



編曲 松崎 国生 Kunio Matsuzaki

作曲、編曲、ヴァイオリン、ヴィオラ、ピアノ奏者。くらしき作陽大学音楽学部音楽学科弦楽器専修ヴァイオリン専攻卒業。平成25年度くらしき作陽大学特待生。同大学平成25年度卒業・修了演奏会出演。2013年、第9回「I am a solist」でソリストとして岡山フィルハーモニック管弦楽団と共演。2014年、第47回岡山県新人演奏会出演。2014～2019年、ゲーム音楽によるプロ・オーケストラ「JAGMO」に編曲家として参加。NHK音楽祭2016～2019「シンフォニック・ゲーマーズ 1～4」に編曲家として参加。2017年、岡山県にて作曲作品個展を開催。長岡京室内アンサンブル公演など演奏家としての出演多数。Twitterにて投稿した「頼んでもいないのに練習中に邪魔しに来るジャズ科の先輩」が約130万回再生、65,000いいね、25,000リツイートを獲得、記事に取り上げられるなど、インターネット上にて「ネタ楽譜」による創作も展開中。これまでにヴァイオリンを宮内康恵、森悠子の各氏に師事。



画家 中山晃子 Akiko Nakayama

2012 東京造形大学 造形学部美術学科絵画専攻領域 卒業

2014 東京造形大学 造形学部美術研究領域 修士課程修了

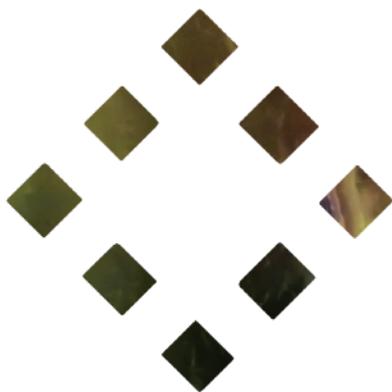
画家。色彩と流動の持つエネルギーを用い、様々な素材を反応させることで生きている絵を出現させる。絶えず変容していく「Alive Painting」シリーズや、その排液を濾過させるプロセスを可視化し定着させる「Still Life」シリーズなど、パフォーマンス的な要素の強い絵画は常に生成され続ける。様々なメディウムや色彩が渾然となり、生き生きと変化していく作品は、即興的な詩のようでもある。鑑賞者はこの詩的な風景に、自己や生物、自然などを投影させながら導かれ入り込んでいく。ソロでは音を「透明な絵の具」として扱い、絵を描くことによって空間や感情に触れる。近年では TEDxHaneda、DLECTROCITY ART FESTIVAL (デトロイト)、Solo performance at NEW ARS ELECTRONICA (オーストリア)、Biennale Nemo (パリ)、LAB30 Media Art Festival (アウグスブルグ)、TECHNARTE art + technology (ビルバオ)、MUTEK モントリオール等に出演。



プロデューズ 泉志谷忠和 Tadakaz Mishiya

文化芸術経営のイノベーションファーム YHIAISM株式会社 CEO

米国遊学後、慶應義塾大学SFC卒業。インテル株式会社を経て、2013年、生演奏をより多くの人に届けるべく日本初のゲーム音楽を専門とするプロ交響楽団JAGMOを創設、代表取締役CEOに就任。オーケストラのプロデューサーとして2年で5万人超動員の興行ブランドに育て、NHK音楽祭出演、外務省後援を得て海外公演を展開。2016年、M&Aを経て引退。文化政策・文化芸術事業の研究行方。2019年、デロイト トーマツベンチャーサポート株式会社に参画。文化芸術領域を専門に経営コンサルタント及びスタートアップエコシステム創出、アクセラレーション、イントレプレナー育成、新規事業支援、社内では経営企画、リーダーとしてDXプロジェクトに従事。2021年、文化芸術の持続可能な発展のためイノベーションファーム YHIAISM（イア・イズム）創業。芸術文化のイノベーションリーダー育成・支援のためのプログラム Cultural Innovation Leadership（CIL）創設し、音楽、美術、文学、伝統芸能、伝統工芸等、あらゆる文化芸術領域のリーダーシップ支援に従事。



YHIAISM

主催企業

法人名：YHIAISM株式会社

読み方：イア・イズム

英語表記：YHIAISM Inc.

代表：泉志谷忠和

所在地：東京都港区南青山2-2-15-1214

公式サイト：<https://yhiaism.co.jp>

お問い合わせ：<https://www.yhiaism.co.jp/contact>

顧問：原島博 氏（東京大学 名誉教授） 坂井直樹 氏（元慶應義塾大学 教授）

事業内容：

- ・文化芸術経営のイノベーションファーム
- ・文化芸術経営のリーダーシップ支援事業 Cultural Innovation Leadership（CIL）の運営
- ・文化芸術経営のコンサルティング、プロデュース事業

CIL 公式サイト：<https://cil.tokyo>

CIL 顧問：近藤誠一 氏（元文化庁長官）